

## 社会福祉法人 順和 役員等報酬規程

(目的)

第1条 この規約は、社会福祉法人 順和（以下「当法人」という）定款第8条および第21条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」とする）の報酬等について定めるものとする。

(報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次の通り報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員等（＜法人における常勤役員の定義＞の者）については、報酬を支給する。
- (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給する。

(常勤役員等の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第1に定める額
- (2) 通勤手当については、職員給与規定第1条の規定に準ずる額

(非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第2に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のため出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、日当、宿泊料）を支給する。

(当法人職員給与との併給)

第5条 当法人の職員を兼ね、職員給与を支給している者の役員等報酬は、別表第3の定めによるものとする。

(報酬等の支給方法)

第6条 常勤役員等に対する報酬の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月25日とする。ただし、その日が休日に当たるときは、職員給与第3条に準じた日とする。

2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員等に就任した者には、その日から報酬を支給する。

2 常勤役員等が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。

3 月の途中における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。

4 本条第2項の規定にかかわらず、常勤役員等が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規定により、計算金額に1円未満の端数が生じたときは、次のとおり端数処理を行う。

(1) 50円未満の端数については、これを切り捨てる。

(2) 50円以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条当法人は、この規定をもって、社会福祉法第五十九条の二第一項二号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第10条 この規定の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第11条 この規定の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めることとする。

附則 この規定は、平成29年4月1日より施行する。

別表 1 (常勤役員等の報酬)

役員名	報酬の額
理事長	月額 10 万～30 万
理事	月額 5 万～15 万

理事長については、年間 360 万円以内、理事については、年間 180 万円以内とする。

別表 2 (非常勤役員等の報酬)

(1) 評議員

(源泉徴収後の金額)

	日額
評議員会への出席	6,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	6,000 円

(2) 理事

	日額
理事会等会議への出席	6,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	6,000 円

(3) 監事

	日額
監事監査等への出席	6,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	6,000 円

監事については、年間 30 万円以内とする。

(4) 評議員選任・解任委員

	日額
評議員、選任解任委員会への出席	6,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	6,000 円

別表 3

当法人職員を兼務し、職員給与を支給している役員・委員に対しては、本規定に基づく役員報酬等は支給しないものとする。